

ゆんたくひろば Vol. 9

～発行～

琉球國祭り太鼓
東京事務局

〒166-0011 杉並区梅里2-40-5-103

☎/FAX 03-3317-5546

琉球國祭り太鼓関東地区公演 ～神秘なる夜明け～ 構成決まる！！

本番に向けて全開！もう御期待！！

来る二〇〇一年七月二十一日から七月二十二日の二日間、東京の中野サンプラザで行なわれる関東地区記念公演の構成が完成しました。大きく4部構成に分かれています。

風舞う蓬萊島」、第四部「万國津梁の鐘2001」フィナーレと進んでいく予定となっております。第一部では亀井日出克氏との共演で「ミルクムナリ」のダイナミック



東京支部三周年記念公演から2年、新たに神奈川支部も加わりますますます盛り上がり、広がり続ける「迎恩」のころ。今回の記念公演も一打入魂、全力で作りに上げていきます！

てプロローグ「夜空」で幕開けとなり、第一部「神秘なる夜明け」、第二部「琉球のかたち」第三部「

なライブで幕開けとなり、第二部は古典音楽から琉球民謡などの音階、琉球音楽の成り立ちを、三線



琴、笛、胡弓、太鼓、三板、四ツ竹等の演奏を通じて表現し、三線の弾き手の宮城克年氏に楽しく解説していただく予定です。第三部は朝霞なるこ遊和会の華麗なるよさこいソーラン踊りで幕を開けます。よさこいソーランは北海道の学生が高知のよさこい鳴子踊りと北海道のソーラン節を取り入れて出来た芸能で、これを象徴に、伝統芸能や文化が流れ、さらに交ざり合いながら様々な芸能文化が生まみ出されて来たことを表現していきます。最後の第四部では万國津梁（全ての國は掛け橋でつながっている）の心意気を以って世界中を駆け巡り迎恩（全てのの人に感謝の気持ちを迎え示すこと）の持つ

「きよなり「すみ」
アルゼンチンに帰っても元気なわー！



太鼓は鳴り響く、文化や言葉の違いを乗り越えて世界

中の人々に感動を与えるその輝かしい一瞬の一員であった事を誇りに思います。アルゼンチンに帰る私ですが生まれた国や習慣が違う私達が太鼓を通じて一つになった事、感動を共有できた事を遠く離れていても忘れる事はありません。

BESOS Y MUCHAS GRACIAS (すみ)



記念公演お問い合わせは東京事務局までお願いいたします

電話、FAX : 03-3317-5546

意味を重んじ太鼓を打ち響かせる琉球國祭り太鼓のスタイルで記念公演を締めくくります。現在関東地区では演技のレベルアップを図るべく、月ごとに強化課題曲を設定して集中練習を行なっています。当日、お客様により多くの感動を与えられるように頑張っておりますのでよろしくご声援の程お願いいたします。

観光感謝の夕べ

(集客450万人達成記念)

安室奈美恵も参加!
例年以上の盛り上がり



安室奈美恵さんは出演前に帰ってしまい私達の演技を観てもらえませんでした、くすん・くすん

沖縄県は十七日、東京・虎ノ門のホテルオークラで「沖縄観光新春のつどい」を行なった。会場には1000人近い関係者が参加。稲嶺恵一知事の挨拶で始まった会は、橋本龍太郎行革・沖縄北方対策担当大臣や、歌手安室奈美恵が駆けつけたこともあり、大いに盛り上がった。橋本大臣はこれだけの人がいれば(沖縄)観光は全く問題がないでしょう」と場内を笑わせた。また安室は今年の元日に、沖縄でコンサートを行い約十万八千人を集客、さらにサミットのテーマソングを歌うなど、沖縄への観光客誘致に貢献したことで、小室哲哉とともに沖縄県から表彰され

た。小室はこの日欠席したが、サミットのテーマソングを作曲し、安室と共に、コンサートを行なったことが理由だ。参加者は、場内に並べられた沖縄ソバ、チャンプルーなど沖縄料理に舌鼓を打ちながら、古典舞踊や琉球國祭り太鼓など伝統芸能を堪能していた。

日刊スポーツより

神奈川だより

神奈川支部
指導員になつて

神奈川支部の指導員に選ばれました。選ばれたからにはきちんと指導員として「演技統一」を目指し、誰が見ても祭り太鼓に入りたいたい魅力を感じる様な支部にしていきたいです。そしてメンバー一人一人がやる気を持つて他の支部にも「負けない」と言う根性を毛

福祉施設訪問

ここころのふれあい
ありがとう

一月十一日(木)に東京支部メンバーの「五郎」の職場である知的障害者の施設、江戸川区立えがおの家の成人を祝う会のアトラクションとして五名のメンバーで叩いてきました。

当日は、主役の新成人三名をはじめ、施設の利用者五十名とその保護者、職員、江戸川区長を前にすると言ったものでした。

『太鼓はやつぱり心に響くんです



凛々しい(?) 基来指導員

ットーに皆で楽しく太鼓を叩いていきたいと思えます。体制も志も新たに大いに盛り上げていきますので、今後もよろしくお願いいたします。

また神奈川支部ではメンバーを募集しています。元気・体力・やる気・根性がある若者男女大歓迎です。我こそはと思う方はぜひご連絡ください。大歓迎お待ちしております。

神奈川支部 指導員
松田 基来

ね。なかなか感情をうまく表現することが難しい知的な障害をもつた人の心にも響き、とても盛り上がりました。カチャーシーのときには、前に出てきていっしょに太鼓を叩く人、その場で手を叩く人さらには区長までもいっしょになつて踊っていました。『と五郎さん。新成人の新しい門出に華を添え、みんなが楽しめたイベントになったようです。このえがおの家では、早くも今度はお祭りでお願ひしたいなんて声も出ているという事です。皆さんお仕事頑張ってくださいねそしてまた呼んで下さい。』

=募金のお願い=

「ゆんたくひろば」の発行にあたりとても多くの方よりご好評いただき大変感謝しております。これからも我々の活動を広く多くの皆様を知っていただくために内容の充実を図るよう努力していきたいと思っております。さて、この「ゆんたくひろば」も発行部数600部にとり支部員一同喜んでおるところでございます。しがしながら郵送にかかる費用等資金不足に困つてもあります。つきましては皆様の寄付金等をお願いいたします。ご支援していただける方は下記の口座までお振込くださいますよう御協力の程お願い致します。

さくら銀行麹町支店
普通 8043997

祝念願の太鼓でデビュー

杉並区身体障害者運動会

二〇〇〇年十月二十八日



イベント後の神奈川のメンバー
集合写真。みんな盛り上げよう

太鼓を始めて約5ヶ月、私もやつと太鼓デビューをする事ができました!!!
間違わずにできるか心配でしたがこのイベントはいつもの練習場所の1つである、蚕糸の森公演が会場という事もあって(?)緊張もあまりせず、落ち着いて演技をする事ができました。太鼓でのイベント出演は旗持ちでの出演とは少し気持ち異なり、カチャーシーに皆が楽しそうに参加してくれたとか、そう言っていたいつもの何気ない事が新鮮に感じられて本当に楽しい事が出来ました。そして、日々の辛い練習は皆に喜んで貰える演技ができるようになっていっている事が実感できて大変勉強になりました。これからもこの気持ちを忘れずに頑張つて行こうと思ひます。

ひとみ



心や身体の障害の有無は太鼓の響きの中では関係なかった。

第5回祭りinシドニー

オージービーフで始まり中華で終わりの巻

昨年十一月三十日〜十二月三日にオーストラリア遠征がありました。本島から十人、県外から五人の計十五人で参加してきました。現地到着後、本島メンバーと合流しオーストラリア観光をしました。オペラハウスやシドニーオリムピックでマラソンに使われたコース等を見てきました。お昼は魚と肉料理が選べ、私は肉料理を選びました。オーストラリアと言えばオー



一緒に遠征に参加した仲間達。楽しい思い出がたくさん出来ました

たので疲れや日差しは気にならず叩き切る事ができました。また、パレードは自分達も楽しみながら出来たので、あつと言うまに終わった様にも感じました。舞台は正装した男性による馬上からのかけ声で始まりました。2回目の出演である団体が「一緒に踊ってくれ」と言う事があり、急ぎよ簡単な踊りを覚える事になりました。その踊りは盆踊りの様な踊りで、気軽

ジービーフ、柔らかい肉を楽しみに待っていました。がなんと、ものすごく固い肉で切るのも大変。口の中に入れたらガムのように、ナカナカ噛み切る事もできなかった。2日目は、パレードと舞台の4回公演をこなしてきました。パレードは日照が強い中でやったのですが、観客の人々が笑顔で応えてくれたり楽しそうに見てくれ

にお客さんも一緒に踊れるもので、気が付くといつの間にかとても大きな輪ができ、想像以上に盛り上がりました。この日の出演終了後、シドニーの街に出て、中華料理を食べました。飛行機に長い時間乗っていないのはならなくて、疲れた遠征でしたが、楽しい思い出になりました。

ゆみ

イベント奮闘記

『あつたぜー！もう獅子大成功』

はつきり言って、1頭の獅子がもう一頭の獅子の背中で回転することが、こんなに難しいとは思わなかった。

それは、水野氏がイベントのコーディネートからの獅子舞の演技に関する要望を軽く受けてしまったことからはじまった。なんと彼は今まで一度もやったことのない荒技をいとも簡単に「できますよ」と言ってしまったのだ。実はその時点で獅子も一頭しかいなかったのだ。新しい獅子の製作と超難度の高い荒技の練習を同時に進めなくてはならなくなった。イベント出演の一週間前、まだ演技ができていなかった。言うま



司会者の早見優さん他の出演者の方々と記念写真

でもないが、もう一頭の獅子もまだ出来ていなかった(恐ろしいことに)。それから当日まで、猛特訓が続いた。他のメンバーも寝る時間を惜しんで、毎日、午前様で新しい獅子の製作をがんばっていった。みんなの期待にも答えるために我々四人(水野、伊保、東濱、盛山)は必死に練習に打ち込んだのだ。

イベントの日の前日、ようやく獅子が完成した！あとは演技がうまくいく事を祈るだけだ。イベント当日、四人の体は疲労と筋肉痛でぐたぐただった。

やがて、本番を迎えた。さすが、祭り太鼓のメンバー、演技が始まると200%の力が湧いてくるのだ。前半の演技はいつもの技が続いた。そして問題の1頭の獅子がもう一頭の獅子の背中で回転をする場面がやってきた。「エイ！どういでもなれ」思い切つて、力いっぱい相手の獅子の背中めがけてくるつと体を回した。すると大きな歓声とともにたくさんの拍手が聞こえてきた。「やった！成功だ」あとは無我夢中で後半の演技を続けた。最後は二頭の獅子が二本立

ちになり、くるくると回つてフィニッシュ！大成功、大成功、大成功だった。演技を終えて、再度観客から大きな拍手をもらったときやつと肩の荷がおりた。同時に僕達を支えてくれたメンバーみんなの努力に感謝の気持ちになった。ありがとう。一言では言い表せないが、本当にすばらしい仲間達だ。これからもこの最高の仲間みんなで、多くの人達に超最高の演技を披露できるように、がんばっていきます。よっちゃん



獅子完成直後と出発直前、ホントにいっぱい頑張りました！

☆☆メンバー募集のお知らせ☆☆

東京支部、神奈川支部ではメンバーを随時募集しています。祭り好きで体力に自信がある健康な若い男女大歓迎です！やりたいと思っただ方はもちろん、ちょっと迷っている人も是非連絡下さい。練習、イベントの見学からどうぞ！気軽に声を掛けて下さいます。練習は厳しいですが、それ以上の得るモノはありますよ。

東京支部長

伊保：090-2632-1513

神奈川支部長

中村：090-1659-8392

